



平成29年2月
(2017年)

緑の学び舎

ニュースレター



豊かな心、健やかな体を育む緑の学び舎

〈特集〉芝生化1年目の学校

- 屋上緑化の紹介
- 芝生の専門家 一年間を通して



屋上緑化の紹介



子供たちの心を耕し豊かにする学びの空間を屋上に

東京都では、都内の区市町村立小学校、中学校、義務教育学校又は特別支援学校で屋上緑化及び壁面緑化を行う際に必要な工事費等を補助しています。今回は、東京都の補助制度を活用して屋上緑化を実施した2校を御紹介します。

屋上緑化①

子供たちの笑顔があふれる芝生の屋上

北区立王子第三小学校

王子第三小学校の屋上は、縦長の校舎の形を上手に生かして緑化が行われ、中央には芝桜、左右には芝生が広がります。周囲にはガザニアやヒラドツツジが植えられ、かわいらしい花が咲きます。

「屋上を芝生にすることを話したときには具体的なイメージが湧かなかった子供たちでしたが、工事が完了して緑色の芝生と

ピンク色の芝桜が織りなす見事なコントラストを見ると、満面の笑みを浮かべて大きな歓声を上げていました。」と關口副校長はうれしそうに話してくださいました。

王子第三小学校は北区内でも高台に位置する学校で、屋上からの見晴らしが良く、たてわり班での活動や写生会などに活用しています。緑化してからはトンボや鳥が遊びに来るようになりました。

今後の活用については、「PTAや地域の方々と相談しながら協力体制を組み、少しずつ活動の幅を広げていきたいです。」と話してくださいました。



關口泰正 副校長



児童数：349名(平成28年5月1日現在)
屋上緑化面積：267㎡
屋上緑化年度：平成27年度

屋上緑化②

季節感を感じながら過ごせる環境が魅力

新宿区立落合第五小学校

落合第五小学校の屋上には、カシワ、ヤマブキ、シモツケ、イロハモミジ、マユミ、キンカンなど様々な樹木が植わり、その間には芝生が広がっています。古谷校長は「屋上緑化の計画に当たっては、学校のシンボルであるカシワの木を取り入れ、実がなる樹木を植えるなど子供たちが季節感を感じられるように工夫しました。水やりや草取りは4年生が行っており、子供たちには“自分たちがあの場所を守っていく”という意識が芽生え始め、活動を続けることで、学習と心の両面の成長につながると考えています。」とお話してくださいました。

今後の活用については、「今年度中に校庭の芝生化を予定しています。芝生の校庭や屋上緑化を活用して地域の方々と触れ合える企画等を考えていきたいです。」と話してくださいました。



学校のシンボル カシワの木

校庭や屋上緑化を活用して地域の方々



児童が作ったプレート



古谷勉 校長



水やりを行う4年生

児童数：134名(平成28年5月1日現在)
屋上緑化面積：105㎡
屋上緑化年度：平成27年度



芝生化1年目の学校

芝生化によって、子供たちの学校生活がさらに豊かなものとなりました。
芝生化1年目の学校の様子を紹介します。

いきいきのびのび、芝生化して子供たちの遊びが大きく変化しました。
瑞穂町立瑞穂第一小学校

児童数:394名(平成28年5月1日現在)
芝生化面積:4,193㎡
芝生が完成した時期:平成27年度



芝生化のきっかけ

瑞穂町では、自然保護と温暖化防止のために校庭の芝生化を推進しています。瑞穂第一小学校は住宅地に囲まれた場所にあるため、環境面や教育上の効果に加えて、砂ぼこり対策や近隣住民の皆さんと連携した活動の充実などの期待もあり、芝生化を行いました。

今後の活用について

芝生化して新たに取組んだことに、はだして行うダンスがあります。芝生の感触をじかに楽しみながら、緑一面の芝生で行うダンスは見応えがあります。来年度以降も体育や休み時間、たてわり班の活動、さらにはオリンピック・パラリンピック教育の一環として芝生を活用した企画を考えていきたいと思っています。



芝生化して変化したこと

子供たちの遊びが大きく変わりました。寝転がったり、でんぐり返しや逆立ちをしたり、教職員と相撲をしたり、転んでも倒れてもけがをする心配がない芝生の校庭だからこそ、いきいきのびのびした子供たちの姿が見られます。砂地のときより校庭で遊ぶ子供たちが確実に増えました。芝生の香りと感触を全身で味わっています。



小林源久 校長

大雪

砂地の時よりも早く校庭を使用できる状態に。芝生の効果を実感！



～年間を通して～

たてわり班集会

異学年が交流するたてわり班遊びを実施。貨物列車遊びをする子供たちの姿が見られました。



休み時間

走り回ったり、寝転がったり、逆立ちをしたり、子供たちは思う存分芝生を楽しんでいました。

芝生の上は気持ちいい～



消防写生会

気持ちの良い五月晴れの下、様々な装備が付いた消防車を細かくとところまで良く見て頑張って描きました。



校庭で遠足気分♪

残念ながら遠足が中止になった日、芝生の校庭でお弁当を食べました。

校庭で食べるお弁当はおいしいね



1 January

2 February

3 March

4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December



運動クラブが芝刈り



夕涼み会



地域の皆さんと瑞穂音頭集会
地域の皆さんと作る踊りの輪が校庭いっぱいになりました。

芝生の校庭で運動会

みんなが真剣に踊り、走り、応援しました。芝生の上でのエイサー踊りは圧巻でした。



専門家による確認

芝生の専門家に、芝生の状況を見てもらいました。芝刈りをはじめとする、維持管理が良くできているとお話いただきました。

マラソン大会の練習

マラソン大会に向けて、芝生の校庭で毎日一生懸命練習しました。



ビオトープと芝生の相乗効果でゆとりの空間が生まれました。
世田谷区立三宿中学校

生徒数:356名(平成28年5月1日現在)
芝生化面積:1,294㎡
芝生が完成した時期:平成27年度



維持管理について

日常の手入れは、PTAの方々、生徒、学校の教職員で協力して行う体制を整えています。生徒たちは部活動終了後や体育委員会活動時に、手動式の芝刈り機を使って芝刈りをしたり、雑草取りを行っています。

三宿中学校は野芝を取り入れています。ゆっくり成長する野芝と相性が比較的良好いとされる冬芝の種をまいてみました。

その結果、青々とした冬芝が生え、冬になっても芝生エンジョイデーや部活動で活用できました。

ビオトープと芝生の相乗効果

三宿中学校には、井戸水を利用したビオトープがあり、今では貴重となった在来種のメダカをはじめ、約16種の生き物が生息しています。ビオトープの周りには桜やモミジ、藤棚などがあり、

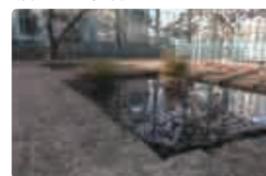
さらに平成27年度に芝生が完成したことで、ビオトープと芝生の相乗効果が生まれ、生徒たちのゆとりのスペースとなっています。

今後の活用について

保健体育の授業やサッカー部、地域の陸上教室で活用する他、ボランティアによる生物の観察会をビオトープと芝生の上で行いました。オリンピック・パラリンピック教育推進重点校として、芝生を活用し、スポーツ志向の向上を目指す企画を考えていきたいと思っています。



暖かな年明け



～年間を通して～

奉仕活動で草むしり
芝生の間に生えた草むしりを行いました。



体育委員が芝刈り

芝刈りと雑草取りを分担して行いました。



1 January

2 February

3 March

4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

10 October

11 November

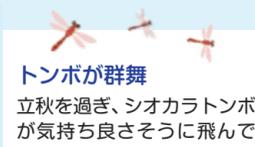
12 December



ガーデニング部や野球部が芝生を整備
芝生が大分伸びて、ガーデニング部の活動や野球部の練習後に、生徒たちが芝刈りや雑草取りを行いました。



トンボが群舞
立秋を過ぎ、シオカラトンボが気持ち良さそうに飛んでいました。



サッカーの準備運動
芝生の上でウォーミングアップをし、熱戦に備えました。



生き物観察

芝生に囲まれたビオトープに暮らす様々な生物の観察をしました。

4月上旬 桜が満開に

芝生に囲まれたビオトープのそばにある桜が満開に。ピンク色と緑色が広がる光景はとてもきれいでした。



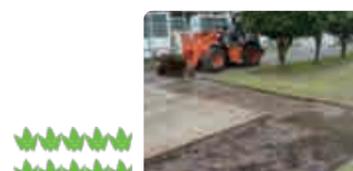
4月下旬 華やかな藤棚

紫色の美しい藤の花が咲きました。藤棚の下には芝生に囲まれたベンチがあり、読書をしたりおしゃべりをしたり、くつろげるスペースとなりました。



芝生を修復

芝生の傷んだ部分を修復してきれいにしました。



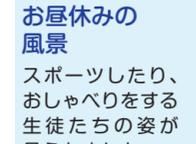
専門家による確認

芝生の専門家に、効率的な芝刈りの方法や良好な生育を保つポイントなどについてアドバイスをもらいました。



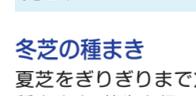
お昼休みの風景

スポーツしたり、おしゃべりをする生徒たちの姿が見られました。



冬芝の種まき

夏芝をぎりぎりまで刈って、冬芝の種をまき、養生を行いました。



芝生エンジョイデー

校長先生による絵本の読み聞かせを行いました。物語を聞く生徒たちには、笑顔がこぼれていました。



牧野英一 校長

都内の小中学校等から様々な相談を受けて、アドバイスや講習会を行ってきた芝生の専門家。この一年間で印象的だった取組についてお話を伺いました。

芝生の専門家 一年間を通して

株式会社栗芝 くりしま こう
代表取締役 栗島 香さん
tel.03-5903-5333



冬芝の種まきを子供たちの手で

芝草には、春から秋まで緑色で冬は地下茎などの形で休眠する夏芝と、秋に種をまき冬の間に緑色となる冬芝があります。都内には、夏芝と冬芝を組み合わせ一年中緑色の芝生としている学校や幼稚園が多くあります。

清瀬市立清瀬第六小学校では自然環境委員会の活動として5,6年生が、葛飾区立高砂小学校では総合的な学習の時間に6年生が冬芝の種まきを行いました。専門家派遣によるポット苗補植などの講習会を通して子供たちが芝生に興味を持つようになり、気軽に楽しんで取り組める種まきを子供たちの手で行うことにしたそうです。

種まきにより芝草の種類を知ったり、芝生のことを学校新聞に載せたり、自ら雑草抜きをするなど、芝生を思いやる子供たちの様子が見られるようになりました。



冬芝の種まきを行う子供たち
～清瀬市立清瀬第六小学校にて～



目土した校庭にブラシをかける児童
～葛飾区立高砂小学校にて～

芝生の専門家からひとこと ～冬芝の種まき～

冬芝にはどのような種類がありますか？

ペレニアルライグラス(種まき後5～7日程度で発芽、初期生育が旺盛)、ケンタッキーブルーグラス等

種をまくときのポイントは？

- ・まきムラができないように、作業する人たちが手順の確認を行うこと。
- ・標準播種量は、40～50グラム/1㎡
- ・まく時期は、9月下旬から10月上旬が目安

種まき後の管理方法を教えてください！

- ・種まき後は特に乾燥しないように、散水を欠かさないこと(3,4週間程度)。
- ・発芽後2,3週間は、なるべく養生期間を設けるようにすること。



利用状況や生育環境に合わせた管理計画を

運動会をいつ実施するかは、芝生化した学校にとって重要なポイントです。芝生が良好に生えそろうと、一面きれいな緑色が広がる春は魅力的ですが、芝生の状態に思い悩むケースもあります。今年度も複数の学校から御相談を頂きました。

小金井市立前原小学校は春に運動会を行っていましたが、芝生の回復が間に合わないまま運動会当日を迎えていました。そこで今年度、春から秋への実施に変更してみたところ、春よりも凹凸が少なくきれいな状態で行うことができました。また補修計画も立てやすくなり、校庭を上手に活用できるようになったそうです。



小金井市立前原小学校

芝生の専門家からひとこと ～季節による芝生の特性(運動会編)～

時期	メリット	デメリット
春	天候が安定する時期。芝生が良好な状態で生えそろうと、秋よりもきれいな緑色が広がる。	芝生の状態が安定しにくい。
秋	夏休みを補修期間に設定でき、秋までに計画的な管理ができる。	運動会と冬芝の種まきの日程調整が難しい。

春と秋に運動会を開催する場合の芝生から見たメリットとデメリットを考えてみました。これは都内の学校を訪問してお話を伺ったり、芝生の状態を見た私の意見です。春、秋、どちらの開催が好ましいということは一概には言えません。教育的効果や学校行事の予定、芝生の生育環境など、総合的に判断して、各々の学校に合った選択をしていただくことが一番です。困ったときは是非御相談ください。

